

# やる気いっぱい、感動いっぱい、出会いいっぱい、西藤島小 福井市西藤島小学校

## 1 取り組みの概要

### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	9回

### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	55人
授業ボランティア(含:低ボラ)	230人
登下校支援ボランティア	42人
その他( )	人

### (3) 特色ある活動

テーマ 「 心の教育の充実 」
-----------------



地元の農家と農協の協力による米作り体験  
 近くにある学校田を利用し、5年生の総合的な学習では、米作り体験を行っている。  
 今年も収穫を祝って、地元の農協と地域の農家のご協力により、もちつきを体験し、つきたての餅をみんなで味わった。また、収穫した米は、毎年、社会福祉協議会を通じて地域のお年寄りに食べていただいたり、老人ホーム慰問の際にプレゼントとして持参したりしている。



社会福祉協議会との連携による総合的な学習“地域の人とふれあい隊”というテーマで3年生の総合的な学習において、地域の様々な人々との交流学习を行っている。  
 例年、6月には社会福祉協議会の協力を得て、公民館で「ちまき作り」を行っている。地域のお年寄りに、ちまきの作り方を習いお礼の気持ちを込めて、歌や合奏を発表している。また、年に2回、高齢者学級の方々を招いて、地区の昔の様子を伺ったり、学習の成果を発表したりして交流を図っている。



育成会との連携による福祉体験活動  
 当地区の子ども会育成会は年間を通して様々な行事を学校と連携して行っている。なかでも毎年11月に行われる老人ホームへの慰問活動は、5・6年児童にとって大変有意義な福祉体験学習となっている。事前に児童たちはグループに分かれて出し物の練習をし、当日はお年寄りと一緒に楽しく交流を行った。また、食事のお世話をしたり車イスを押して部屋へ移動したりなど、学校では得られない福祉体験活動を行うことができた。

## 成果と課題

年3回開催している「地域に生きる学校づくり推進協議会」において、地域諸団体の代表者、少年団活動の代表者、保護者の代表者などから数多くの貴重なご意見を伺い、それを学校運営に生かすことができた。今後も、学校からの情報発信を高め、開かれた学校づくりを目指したい。

子どもたちは土日になると少年団活動や習い事を優先し、地域の様々な行事に参加することが少なくなっている。学校・家庭・地域のネットワークを強化し、行事等の調整を図っていく必要性を感じる。

